

捕獲して被害をなくす

イノシシなどでは、いつも同じ個体が被害を出していることがあります。その場合は、捕獲により被害が無くなることもあります。そこで、ここからは捕獲方法を説明します。

狩猟免許を取得する

狩猟をするにはまず初めに狩猟免許を取得する必要があります。狩猟免許には種類があり、それぞれ使用する猟具が異なります。

免許の種類と中身

- 第一種銃猟免許：散弾銃・ライフル銃・空気銃を用いた狩猟に必要
- 第二種銃猟免許：空気銃を用いた狩猟に必要
- 網猟免許：網を用いた狩猟に必要
- わな猟免許：わなを用いた狩猟に必要

※平成18年度までは網・わな猟免許

試験に申し込む

どの種類の免許を取得するか決まったら申し込みをします。受験は年2回（8月、9月）開催されます。受験の際に必要なものは申請書、新規受験手数料（新規の場合は狩猟免許一種あたり5,300円）、写真1枚（タテ3.6cm×ヨコ2.4cm）、医師の診断書、返信用封筒（郵送の場合）です。申請書は銃砲店、徳島県自然共生室、各合同庁舎等で配布しています。

試験を受ける

試験は、学科試験、適正検査、鳥獣判別試験および実技試験となっています。試験に合格すると狩猟免許が交付されます。

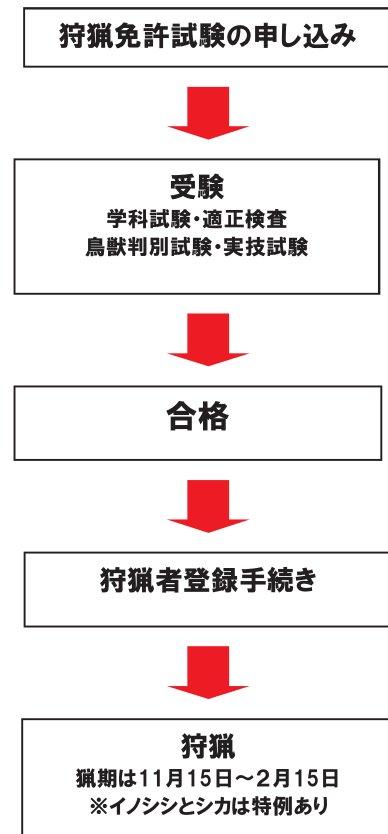
試験までに、猟友会が開催する講習会があります。参加は任意で、参加費が別途必要です（講習会費6,500円程度必要）。免許取得後は、3年毎に更新のための講習と適正検査を受ける必要があります（更新手数料2,900円）。

狩猟をする

狩猟を実施するためには、狩猟をしようとする地域を管轄する都道府県で狩猟者登録を狩猟実施年毎にしなくてはなりません。登録の際には登録手数料1,900円、狩猟税16,500円（標準）が必要となります。また、その他にハンター保険料等も必要です。猟友会に所属すれば、これらの手続きを代行してもらえます（猟友会費などに5,000円程度必要）。

※ここで説明したことは概要です。実際に狩猟免許の取得をお考えの方は、徳島県環境首都課自然共生室までお問い合わせください。

狩猟までのながれ



わなを使って捕獲する



動物を捕獲するためには、銃猟と網猟やわな猟があります。銃猟は、山に入って動物を追ったり、銃などの管理など、大変なことが多いですが、わな猟は比較的簡単に始められます。そこで、ここからは、わな猟について説明します。

わなの種類



動物を捕獲するには、くくりわな、はこわな、囲いわな、の3種類のわなが使用されています。それぞれの特徴は以下のとおりです。

※わなは、自分が1日で巡回できる個数以上は設置できません（最大限度30個）。また、わなには設置者の氏名、住所等を表示することが義務づけられています。

くくりわな



輪になったワイヤーに動物が足を入れると止まる仕組みになっているわなです。

 サル	 シカ	 イノシシ
△	○	○



利点

- 軽量なので一度に多く仕掛けられる。
- 餌付けの心配がない。



欠点

- 他の動物がかかる恐れがある。
- 動物を回収する際に危険を伴う。



設置場所

フィールドサイン（P.24）を手がかりに、動物の通り道に仕掛けます。寄せえさを使用しないので、動物が多く利用している場所をしっかりと見極めるのが重要です。




※サルは狩猟獣ではないので、捕獲するには有害獣捕獲申請が必要となります。

※平成19年度の改正で、輪の直径が12cm以上のくくりわなは狩猟での使用が全面的に禁止されます。

はこわな



天井まで囲われている、はこ型（檻）のわなです。さまざまな大きさの物があります。

 サル	 シカ	 イノシシ
○	△	○



利点

- 大きさが選べるので、トラックに載せて簡単に運べる。
- 動物を殺す際に危険が少ない。



欠点

- 他の動物が入った時に逃げ出せない。
- イノシシの場合、最初に子供がはいるので大人のイノシシが獲れにくい。



設置場所

フィールドサイン（P. 24）を手がかりに、イノシシが多く利用している場所に設置します。イノシシの搬出など作業もあるので、車が入る場所の近くが良いでしょう。



こんなところに気をつけよう

- シカやイノシシは、底の金網が見えていると嫌がります。床面は、埋めるなどして平らにしましょう。
- 入り口付近にえさをまくと、食べられる範囲だけ食べて、中に入らないことがあります。寄せえさは、外から遠い位置にまきましょう。

寄せえさに注意

「はこわな」と「囲いわな」は動物が入るように寄せえさを使います。しかし、周辺にある作物を使うと、かえって被害を大きくする可能性があります。わなに入れるえさは、**1. 不必要にまかない、2. 多少お金がかかっても、周辺にないものを使う**、ことが大切です。





むやみに使うと被害を広げることも

囲いわな



はこわなの天井部分がないタイプのわなです。大型になります。

 サル	 シカ	 イノシシ
×	○	○



利点

- 大型なので一度に大量捕獲ができる
- 人身事故の可能性が低い。



欠点

- 大型なので設置すると移動ができない。
- 設置場所を間違えると、動物がまったく捕獲できないことがある。



設置場所

フィールドサイン (P. 24) を手がかりに、動物が多く利用している場所にしかけます。一度に大量に捕獲できますが、簡単に移動できないので、場所を選ぶ必要があります。



こんなところに気をつけよう

- 捕獲した動物を「はこわな」に移すので、入り口はこの大きさに合わせましょう。
- 「囲いわな」は中が広いため、動物が動き回れます。動物が体当たりしても壊れないように考えて制作しましょう。

免許がなくても設置できる場合

農林業者が、被害を防止する目的で一定の条件のもとに囲いわなを設置する場合、わな猟免許は不要です。ただし、各種捕獲規制を守る必要があります。囲いわなを仕掛けてみようと考えている方は、事前に市町村担当課にお問い合わせください。

